



Title	巻頭言：電子ジャーナル問題の解決に向けて
Author(s)	西尾, 章治郎
Citation	大学マネジメント. 2019, 15(8), p. 2-3
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/73687
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

巻頭言：電子ジャーナル問題の解決に向けて

大阪大学 総長 西尾 章治郎

career

Shojiro NISHIO ●



京都大学工学部卒業後、同大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。大阪大学で工学部教授、サイバーメディアセンター長、大学院情報科学研究科教授、同研究科長を経て理事・副学長などを歴任し、2015年8月より現職。2011年紫綬褒章、2014年文部科学大臣賞、2016年文化功労者など多数を受賞。

論文を書くために他者の学術雑誌を読むことは、研究者にとって不可欠の営みである。今日、大学の教育・研究を支える環境の中で、論文情報を得るための学術情報流通基盤は、かつてないほど大きな変化を遂げた。以前なら図書館で雑誌論文をコピーしていた研究者が、現在は多くの場合、研究室や自分のパソコンから電子版のジャーナルを読んでいる。関連分野のジャーナルまでまとめ買いをするパッケージ契約により、万の種類の雑誌がいつでもどこでも読めるようになった。ユビキタス社会にふさわしい研究環境が整い、便利な時代が到来したと、当時は手放して喜んだものである。

ところが、この基盤の維持には莫大な費用負担が強えられることになった。毎年の価格高騰と為替の影響により、大学の財政を逼迫するほど深刻な状況に至っている。国立大学の中にも、大手海外出版社のパッケージ契約を維持することができなくなり、従来のような個別タイトル購読の契約に戻す機関が現れた。その結果、読める学術雑誌のタイトル数が一気に縮小し、予算の制約があるため、その後も年々減少する負のスパイラルに陥ってしまう。教員は所属学会や研究者仲間のネットワークを利用できるが、大学院生は入手をあきらめてしまう場合が多

く、その影響はボディブローのようにじわじわと効いてくる。他機関から来た研究者にとっても研究環境が不十分だと映るかもしれない。

この状況は、公私立も含め、全国の大学に拡大している。国内の大学全体の費用負担総額は300億円にも達する規模となり、看過できない事態である。それならナショナル・サイト・ライセンスのような国としての購入ができないかと思いつきそうだが、これは既に議論され、分野間のコンセンサスを取ることが困難であるのに加え、国の財政が厳しい中では結果的に研究費本体への圧迫を招きかねず現実的ではないとの結論が出ているようである。

海外の事例では、ドイツ大学長会議（HRK）が主導するプロジェクトDEALの動向から目が離せない。エルゼビア社との交渉を打ち切って契約延長をしない国内機関のリストを公開しつつ、同社の姿勢に抗議をしたり、シュプリンガー・ネイチャー社との間で全体のコストを抑

えるためにPublish & Read契約締結に向けた覚書に署名したりするなど、積極的に行動を起こしている。

今年1月、国立大学協会の研究小委員会での電子ジャーナルを巡る問題の報告がされ、対応を検討する必要性が確認された。一方、筆者が委員長を務める科学技術・学術審議会情報委員会でも、ジャーナル問題検討部会を立ち上げ

て議論することを決めた。国の研究力基盤の弱体化が叫ばれる中、大学における電子ジャーナル問題は日本の科学力の命運に関わる喫緊の課題である。解決策をまとめるのは容易ではないが、関係者各位には、諸外国の大学等の対応や出版社の動向を注視しながら、将来への道筋を示すために知恵を出し合っていただけるよう期待している。

News Clip

2019.11月号 (Vol.15 No.8 通巻173号 P3)

- 【朝日新聞】研究者を誘惑する論文海賊版 高騰する購読料、大学圧迫
<https://www.asahi.com/articles/ASLBK77KGLBKPLBJ005.html>
- 【朝日新聞】有料論文に海賊版サイト 国内の不正入手、127万件
<https://www.asahi.com/articles/ASLBK7785LBKPLBJ002.html>
- 【日本経済新聞】論文は誰のものか（上）大手学術誌に投稿拒否
研究者ら論文独占に対抗 AI専門3000人署名
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO35882490Y8A920C1TJM000/>
- 【日本経済新聞】論文はだれのものか（中）迅速公開、ゲイツ氏主導 購読料不要で世に問う
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO36187030V01C18A0TJM000/>
- 【日本経済新聞】論文は誰のものか（下）知的資産 やまぬ海外流出 魅力ある英文誌日本で
<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO36410180S8A011C1TJM000/>
- 【毎日新聞】粗悪学術誌 論文削除応じず
<https://mainichi.jp/articles/20181015/ddn/041/040/010000c>
- 【毎日新聞】粗悪学術誌 投稿5000本超 九大、研究者に自粛指導
<https://mainichi.jp/articles/20180903/k00/00m/040/110000c>
- Projekt DEALとシュプリンガー・ネイチャー、
世界最大規模の変革的オープンアクセス契約に関する合意締結
<https://www.natureasia.com/ja-jp/info/press-releases/detail/8741>
- ケンブリッジ大学出版、英国OA契約に署名
<https://rcos.nii.ac.jp/miho/2019/02/20190214/>
- Informetricsの編集委員会、エルゼビア社と決別し、OA誌を別の出版社で創刊
<https://rcos.nii.ac.jp/miho/2019/01/20190116/>
- Taylor & Francis社、研究者を対象とした学術情報流通に関する意識調査のレポートを公表
<https://current.ndl.go.jp/node/39371>
- 欧州大学協会（EUA）、欧州の大学における研究評価に関連した
オープンサイエンスとオープンアクセスの調査報告書を公開
<https://current.ndl.go.jp/node/39351>
- ドイツ図書館協会（DBV）、ドイツの図書館の現況等に関するレポートの最新版を公表
<https://current.ndl.go.jp/node/39305>